

遺産登録5周年記念行事の実施状況

1. 概要

- 内地においては対外的発信を、現地においては村民との知識・認識の共有を主要な目的とする。
- 現地イベントは、現地事務局の協力により、科学委員会や地域連絡会議においても遺産価値や取組成果に関する村民理解を促進することの重要性が指摘されていることを踏まえた取組とする。

2. 行事实施結果概要

日時	行事名	開催地	実施概要	実施体制
3月	プレセミナー	父・母	マイマイ講演会（千葉委員）	環境省
4月19日 20日	取組発表会	母 父	平成27年度の事業報告他	現地事務局
5月6日	産業祭出展	父	遺産5周年ブースの設置	現地事務局
5月28日	南島外来種駆除ボランティア	南島	村民参加での外来植物の駆除作業、取組の視察	村
6月25日	返還祭出展	父	遺産5周年ブースの設置	現地事務局
6月26日	内地記念イベント	内地	第1部：シンポジウム 第2部：テーマセッション	内地事務局 (登録5周年記念イベント事務局)
7月5日	記念セミナー	父	昆虫、グリーンアノール対策（苅部委員ほか）	環境省、自然研、村
7月17日	兄島視察会	兄島	グリーンアノール対策、ネズミ対策の視察	現地事務局
8月25日 26日	記念セミナー	父 母	植物（清水委員、加藤委員）	林野庁、村
10月25日 29日	記念フォーラムⅠ 「The Web of Life ～現代のダーウィン、 進化の島でなに を見る？～」	母 父	記念講演：ローズマリー・ギレスピー氏 (島しょ生態系、進化生物学) 連携企画：「島」と「進化」をテーマにした企画展示、関係者との合同フィールドワーク	現地事務局、 島内関係団体、有志
11月17日 18日	記念フォーラムⅡ 「世界遺産の魅力、 再発見」	父 母	記念講演：久保美智代氏（日本イコモス委員会会員）	現地事務局
12月21日 23日	記念講演会	母 父	遺産管理、外来種対策（大河内委員長、 織委員）	環境省、村

2月4日	兄島視察会	兄島	グリーンアノール対策、ネズミ対策の視察	現地事務局
------	-------	----	---------------------	-------

3. その他関連事業等

(1) 5周年記念普及啓発グッズの作成、配布

リーフレット	オリジナル野帳	うちわ
		
ロゴシール		
		

(2) 村民だよりでの連載コラム

掲載月	タイトル	執筆担当
6月	“世界でここだけ、小笠原固有の昆虫たちを守る ～希少種オガサワラハンミョウの保全活動～	自然環境研究センター鶴智之
7月	たくましくも不器用な小笠原の植物たち	小笠原諸島森林生態系保全センター藤田泰平
10月	小笠原 個性光る生物進化の歴史	小笠原自然文化研究所佐々木哲朗
11月	「sightseeing」と「世界自然遺産」について	株式会社ナショナルランド 松崎哲哉
12月	世界遺産5周年を迎えて ～小笠原ふしぎ発見！ ～	小笠原諸島世界自然遺産科学委員会委員長 大河内 勇

4. 内地記念イベントの実施概要

- 行事名 : 小笠原諸島世界自然遺産地域登録5周年記念イベント
- 日時 : 平成28年6月26日(日)
- 会場 : 東京都議会議事堂1階: 都民ホール、都政ギャラリー、議事堂レストラン
- 主催 : 小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関
(関東地方環境事務所、関東森林管理局、東京都、小笠原村)
- 協力 : 斜里町・羅臼町(知床世界自然遺産地域)
鱒ヶ沢町・深浦町・西目屋村・藤里町(白神山地世界自然遺産地域)
屋久島町(屋久島世界自然遺産地域)
- 参加者 : 第1部シンポジウム 一般139人、報道7名
第2部テーマセッション 一般58名、報道3名

■第1部シンポジウム開催概要:

	講演内容	講演者	主な講演内容
冒頭	映像による小笠原	NHK エンタープライズ制作本部 NHK 制作局科学環境番組部	・アホウドリの新繁殖地形成の取組、および西之島の噴火やその後の鳥類の定着状況を中心に映像で紹介。 ・特に西之島については、撮影機材上陸にあたっての外来種対策のシーンを入れていただき、生態系保全の取組を紹介。
1	遺産価値の陸産貝類を守る努力	小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員 千葉聡氏	・主に陸産貝類の観点から小笠原の遺産価値を紹介いただくとともに、現在の危機と保全対策の取組について紹介。
2	希少種を守る地域協働の取り組み	公益社団法人東京都獣医師会理事 中川清志氏	・小笠原の生態系を保全するための一環として、外来種であるノネコ対策を島民が主導的に実施し、東京都獣医師会がバックアップすることで、アカガシラカラスバトの増加など大きな成果を挙げていることを紹介。
3	世界遺産地域における観光・利用	株式会社ナショナルランド・小笠原観光情報センター 代表取締役 松崎哲哉氏	・島民の取組によって島の生態系が維持・復元されることが、小笠原の遺産価値の維持につながっていること、そしてガイドツアーでは様々な取組と成果を理解できるプログラムが準備されており、世界自然遺産の保全対策について実際に「見る」「感じる」ことを通じて深く理解できることを紹介。
4	小笠原世界自然遺産地域が目指すべき目標像	小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員長 大河内勇氏	・小笠原の遺産価値の全体像を紹介するとともに、各講演内容の核心部分を関連づけてまとめ、世界自然遺産が目指すべき人と自然との「共存」のあり方や目標像を提示。



■第2部テーマセッション開催概要：

- ・国内4つの世界自然遺産地域から町村長等が出席し、各地域の紹介や課題の共有を行い、「世界自然遺産地域ネットワーク協議会」の立ち上げを宣言。
- ・今後、関係8町村が連携し、次の活動に取り組んでいくことを確認。
 - (1) 日本の世界自然遺産地域の価値と魅力を発信
 - (2) 世界自然遺産地域の社会的な環境保全活動の推進
 - (3) 世界自然遺産を活かした地域振興の検討



■場内の様子



5. 記念フォーラム I の実施概要

■行事名：「The Web of Life ～現代のダーウィン、進化の島でなにを見る?～」

■目的：

村民：世界自然遺産登録5周年を機に、小笠原の自然の価値を村民に改めて共有

関係者：外部の専門家との意見交換を通じて、その価値と保全の必要性を再認識

■実施体制：

主催：小笠原諸島世界自然遺産地域管理機関現地事務局

(小笠原自然保護官事務所、小笠原諸島森林生態系保全センター、小笠原支庁、小笠原村)

協力：小笠原クラブ、小笠原自然観察指導員連絡会、小笠原自然文化研究所、自然環境研究センター、小笠原環境計画研究所、その他島内有志

■概要：島の生物進化に関する世界的な研究者を招聘し、講演会やフィールドワークを実施

Rosemary Grace Gillespie (ローズマリー グレース ギレスピー)教授

通訳・大学院生：Seira Ashley Adams (星来 アシュリ アダムス)氏

■開催日・場所：10月25日(火) 母島、村民会館

10月29日(土) 父島、福祉センター多目的ホール

■講演内容：「世界の島々の進化の物語」 A story of island evolution around the world

・ハワイのクモなど、世界の島々の事例を通じた島の進化の話

・小笠原でのフィールドワーク速報

■関連企画：

・関係者、村民とのフィールドワーク (兄島、弟島、父島東平、母島乳房山、南崎、石門ほか)

・母島小中学校での特別授業

・島内関係者による企画展示



*12月18日より、ビジターセンターにて当日の企画展示や実施結果について紹介する

「The Web of Life ～進化と変化を続ける島々の変わらないモノと変わったコト」を開催